



**今回の探検先は…**  
**銀座郵便局**

日本の政治・経済の中心である永田町・霞が関・丸の内・大手町と繁華街の銀座・有楽町を網羅する郵便専門局。2008年までは東京中央郵便局として東京駅前業務を行っていた。JPタワー（KITTE）建設に伴い、窓口機能は東京中央郵便局（JPタワー内）に残し、郵便物等の処理・配達機能を現在の銀座8丁目に移転させ、銀座郵便局として業務を開始。引受郵便物数は1日約250万通。日本の経済と商業の中心地を支える郵便局として、社員総勢約1,100名で、24時間・年中無休で稼働している。

●探検実施日：2017年3月28日（火）

**POST** 手紙はどうやって届けられているの？



桜が咲きはじめた3月28日。春休みを迎えた20名の小学生たちがアイテム本社に集まった。今回、探検するのは銀座郵便局。郵便業務を専門に行う大型施設だ。「実際に郵便局を見学して、お話を聞いてみましょう」と説明を受けると、子どもたちはワクワクしながら質問を考えました。そして探検前にもう一つ。銀座郵便局で仕分け体験をするため、実際にはがきを書く。さて、どうやって届けられるのか——。宛名もバッチリ書けたらいいよ出発だ！

**POST** 1通1通が大切な届け物

しかしなかには機械で読み取れない郵便物も。そういったときは人の「目」と「手」で正確に仕分けられていく。子どもたちもその作業を体験した。すべてが機械作業なのではなく、こうした地道な仕事があることも子どもたちは知った。

次は、「配達員の藤川さんと仕分け担当の高橋さんからお話を聞く時間。「やりがいを感じるのとはどんなとき？」という問いには、「お客様に感謝をされる時」と2人は答えてくれた。続けて高橋さんは「雨水で宛先が濡れて読めなくなっても送り主の連絡先が分かれば問い合わせで正しい住所にお送りするんです」と言う。

## 届けているのはお客様の想い 郵便局のバイテク“と”ヒト“に迫る！

**POST** 郵便局の配達車とマシンに感動



銀座郵便局に到着すると、局員のみなさんと日本郵便のキャラクター「ぽすくま」が歓迎してくれた。可愛いお出迎えに子どもたちは笑顔いっぱい。局長の生島さんからは「今日は見てもらいたいものがたくさんあります。ぜひ学んでいってくださいね」とご挨拶があった。

最初に見学したのは、配達車とバイク。運転席に座ったり、荷台の中を覗いたり、特別な経験にみんな大興奮だった。次に向かったのは、選別自動取り揃え押印機。郵便物を揃えながら自動で消印を押してくれる機械だ。しかし、なかには形が合わず機械で処理できないものもある。そうした郵便物は、すべて手作業で消印を押すのだという。実際に局員の方がすばやく押印している姿を見た子どもたちは、その手さばきに感激していた。

1日に何百万通を捌いていても、1通1通が大切な届け物であることに変わりはないのだ。藤川さんは銀座郵便局ならではの特色を教えてくださいました。「官公庁や大企業がひしめくエリアなので、配達量は普通の郵便局の2倍。外国からの郵便物も多く、全体の3割を占めています」さらに1日約26万通も配達すると聞いて、その大変さは子どもたちにとっても予想外だったようだ。



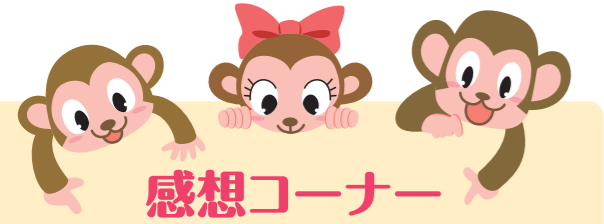
**POST** 郵便局員だけが読み取れる秘密の暗号？！

続いて見学したのは、自動読み取り区分機。全長約50mの巨大なこの機械は、郵便物に書いてある郵便番号を読み取り、番号別に仕分けすることができ。そのスピードは、なんと1時間間に4万通。ここでは子どもたちは、自分で書いたがきが自動で仕分けられる様子を見る。作動ボタンが押されると郵便物はすごい速さで機械の中を流れ、郵便番号ごとに分けられた棚のなかにストンと格納。その瞬間を待ち構えていた子どもたちからは、「入った！」と次々歓喜の音が聞こえてきた。驚きはまだまだ続く。仕分けられた郵便物をUVライトで照らすと、バーコードが浮かび上がるのだ。これは、宛先の情報をデータ化したもので、配達を円滑にするための工夫。インクが透明なので一般の人に気付かれることはほとんどなく、まるで郵便局で働く人だけが分かる秘密の暗号のようだ。

**POST** たくさんの方の手で支えられている郵便局の裏側



最後は、アイテム本社に戻って今日のまとめを発表した。「ぜひ機械が作業していると思っただけ、人の手作業もたくさんあって驚いた」「夜中も働いているなんて知らなかった」という感想が挙がった。郵便局で働く人の裏側の努力を学んだように、さらに、「お客様の役に立てたときに喜びを感じるんだと分かった」「将来やってみたい職業の選択肢がひとつ増えた」と、仕事の面白さもちゃんと届いている。どれだけ大変でも、待っているお客様のために力を尽くす。郵便局での探検を通して、子どもたちは大切な仕事観に触れることができた。



### 感想コーナー

- 最初は、全部機械で分けていると思っていたけど、今日郵便局を探検して、機械と人で分けているということがわかってよかったです。
- ふだん入れない郵便局の中に入れてよかったです。わたしたちが手紙を送るまでにこんなにもいろんな人がかかわっているんだなと思った。
- 郵便局の仕事がよくわかって楽しかったです。

銀座郵便局 郵便企画部 副部長 木村 恵美子さん



しごと探検隊のみなさん、郵便局にお越しいただきありがとうございます。今回は、普段見ることのない郵便局の内部を探検・体験されてみていかがでしたか。“手紙をお届けする”そんな日常で当たり前前のことに、たくさんの方のスタッフが携わったり、いろいろな機械が使われていたりしていることを知っていただけたと思います。これからも、心を伝える手紙をいっぱい書いてくださいね。いつか、成長されたみなさんと一緒に仕事ができたらうれしいです。

●「アイテムしごと探検隊」ご協力をお願い  
 訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか？  
 お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989

